

令和6年度 特別展

高村木綿子^{ゆ うえ こ}が描く

「赤いろうそくと人魚」 絵本原画展



人間はこの世界のうちでいちばんやさしいもの……

高村木綿子「娘の思い」(『赤いろうそくと人魚』より)

2024年

10/5(土) ▶ 12/15(日)

会場 小川未明文学館 市民ギャラリー

主催：上越市 共催：日本近代童話の父 小川未明顕彰会

小川未明文学館

〒943-0835 新潟県上越市本城町8-30(上越市立高田図書館内)
TEL: 025-523-1083 FAX: 025-523-1086
<https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/mimei-bungakukan/>

入場無料

開館時間 午前10時～午後6時

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、
10/17(木)、11/21(木)





1



2



3



4



5

作品名(「赤いろうそくと人魚」より)
 1 人魚の母娘 2 美しいろうそ子 3 幸せな三人 4 絵を描く娘 5 赤く塗ったろうそく

高村木綿子^{ゆ う こ}が描く

「赤いろうそくと人魚」 絵本原画展

「日本近代童話の父」とよばれる小川未明の1200編以上の童話の中で、今も多くの人びとに愛され続けている「赤いろうそくと人魚」。この童話は、1921年(大正10)に東京朝日新聞で発表されてから、100年以上にわたり未明の代表作として知られ、時代を越えて多くの画家たちがその情景を描いてきました。

童話「赤いろうそくと人魚」は、北の海にすむ人魚の母親が、人間のやさしさを信じて子どもを人間界に託す話です。本展では、日本画家の高村木綿子さんが絵本で初めて手がけた『赤いろうそくと人魚』(架空社、2013年)の原画を関連資料とともに紹介します。愚かで欲深い人間と純粋で愛情深い人魚の姿を、高村さんが独自の感覚で繊細かつ力強く表現しています。悲しくも美しい未明童話の世界をぜひご覧ください。

高村木綿子さんプロフィール

東京都出身。武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒業。定期的に個展・グループ展を開催。壁画やイラストの仕事多数。画家・堀越千秋の舞台美術制作等に長年携わる。群馬県在住。山と川に近い所に暮らし、馬2頭と犬2匹、亀1匹が家にいる。小学生2人の子育てをしながら制作を続けている。

関連イベント

■ 記念講演会「赤いろうそくと人魚」の世界

未明童話「赤いろうそくと人魚」の読み方・味わい方をわかりやすく解説します。

講師：小笠裕二さん
(上越教育大学教授・小川未明文学館専門指導員)

日時：11月17日(日)
 午後2時～3時30分

会場：小川未明文学館 市民ギャラリー

定員：30人(要申込、多数の場合は抽選)

申込締切日：11月7日(木)までに小川未明文学館
 (TEL:025-523-1083)へ

聴講
無料

■ 文学館こども祭

「赤いろうそくと人魚」をテーマにした楽しい工作やクイズを行います。

日時：10月27日(日) 午前10時～午後3時 会場：小川未明文学館ロビー

参加
無料

■ 特別展おはなし会

未明ボランティアネットワークの協力により、子どもから大人まで楽しめる未明童話の読み語りをを行います。

日時：10月27日(日) 午後1時～2時30分 会場：小川未明文学館 市民ギャラリー

参加
無料

小川未明文学館

〒943-0835 新潟県上越市本城町8-30(上越市立高田図書館内)
 TEL:025-523-1083 FAX:025-523-1086 <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/mimei-bungakukan/>

交通のご案内

- えちごトキめき鉄道 高田駅から徒歩30分、車で10分
- 上信越自動車道 上越高田インターチェンジから車で15分
- 北陸自動車道 上越インターチェンジから車で20分
- 最寄りバス停：高田城址公園(下車徒歩5分)、大手町十字路(下車徒歩10分)

